



# 学校の窓から

令和2年8月24日号

## 第2学期スタート

16日間という短い夏休みだった上に、連日新型コロナウイルス関連の報道があり、保護者の皆様も子どもたちも不安を感じながらの日々だったのではないのでしょうか。（私もそうでした）

2学期は、各教科等の授業を充実させるとともに、各学年の校外学習や延期していた運動会など、子どもにとって価値のある教育活動は、できるだけ実施したいと考えています。新型コロナウイルスの影響で先が見えない不安はありますが、みんなで知恵を出し合い、力を合わせれば解決できると思いますので、保護者の皆様や地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### 第2学期始業式でこんな話をしました。

まずは、子どもの心身の健康が大切と考え、第2学期始業式で次のような話をしました。

みなさん、おはようございます。16日間という短い夏休みでしたが、皆さんはぐんと成長しましたね。きっと、いろいろな体験をしたり、いろいろな人と関わったりしたことが成長につながったのだと思います。夏休みの間にも、新型コロナウイルスのニュースが毎日のようでありましたね。この問題はまだ終わっていないということです。2学期も感染を防ぐための「新しい生活様式」を続けていく必要があります。

新しい生活様式が皆さんにしっかり身に付くように、校長先生が問題を出しますから、自分はどうするか考えて、アイウの選択肢から自分の考えに近いものを選んでください。

**1 朝、体温を測って記録票に記入しなくてはなりません。でも、お母さんは朝食の片付けや洗濯で忙しそうです。あなたは どうしますか。**

ア 大きい声でお母さんをお呼びして、体温を測ってもらう。

イ あきらめて体温を測らない。

ウ 自分で体温を測り、記録票に書き込む。

※ 体温を測って記録票に書き込むのは、1年生でも自分でできますね。ぜひ、これからも続けてください。

**2 登校中のことです。今日は朝から暑いので、家から付けてきたマスクが気になりました。周りを見ると、マスクをしている人としていない人がいます。あなたは どうしますか。**

ア 感染防止のため、マスクは絶対にはずさない。

イ 暑いので、すぐにマスクをはずす。

ウ 周りの人との距離をとってから、マスクをはずす。

※ 今の時期は暑いので、熱中症にならないようにすることも大切です。マスクをするかしないかは、その時の状況によって違います。登下校や外で活動する時はマスクを外すことも必要です。ただし、周りの人との距離をとることも必要ですね。自分で考えて行動することが一番大切です。

**3 昼休みに外で遊んで、校舎内にもどってきました。手を洗おうかと思いましたが、水道の蛇口の所には3~5人が並んで待っています。あなたは どうしますか。**

ア 手を洗うのをあきらめる。

イ 待つのはいやなので、アルコール消毒にする。

ウ 少し待つけれども、石けんで手を洗う。

※ ウイルスを取り除くには、石けんで洗い流すのが基本です。学校でのアルコール消毒は、トイレに行った後や



食事の前など、特にウイルスに注意する必要がある時や、体育や音楽等でみんなで使う用具に触った時だけにしましょう。アルコールは今、手に入りにくくなっています。貴重な物なので大切にしてください。

#### 4 ハンドソープで手を洗おうとしたら、少ししか出ませんでした。ボトルの中身がなくなったようです。あなたはどうしますか。

ア 自分の分は出たので、ボトルはそのままにする。

イ ボトルが空になったことを、担任の先生に言う。

ウ ボトルを保健室に持って行って、中身を入れてもらう。

※ 担任の先生に言うのも一つの方法ですが、保健室の場所は1年生でも学校探検をして分かっていますね。次に使う人のことを考えて、自分にできることをするという行動は、とてもすばらしいと思います。心が豊かになっている証だと思います。

このように感染防止のための新しい生活様式は、自分のことは自分でするという気持ちや自分で考えて状況に応じた行動をするという態度が育ちます。さらに、周りの人のことを気遣って行動する機会にもなります。この機会にぜひ、自分の心を豊かにしてください。

#### 「困ったな・・・」と思ったら「SOS」を出しましょう。

もう一つお話しします。皆さんの心に関わることです。

今の心の様子を天気为例えると「晴れ」「曇り」「雨」「大雨」のどれですか。手を挙げてみましょう。

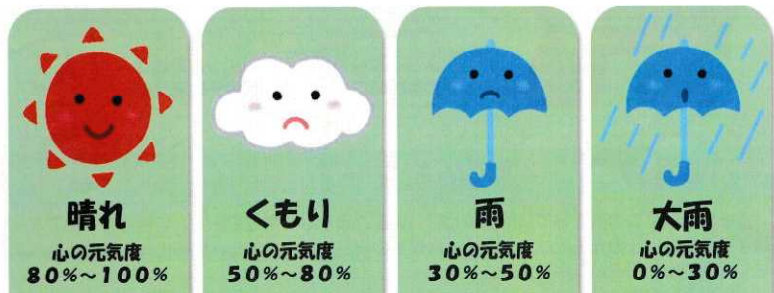
曇りや雨という人は、心に心配なことや困ったこと、悲しいことなどを抱えているのだと思います。

そういう状態が続くと心や体にサインが表れます。「気分が落ち込む」「よくねむった気がしない」「イライラする」などがそうです。このような時は「SOS」つまり「助けて」と言ってください。SOSを伝える相手は先生でもいいし友達でもいいです。話すことで心が楽になるし、解決する方法が見つかることもあります。

また、友達から相談される場合もあります。そのときは、相手の話を真剣にじっくり聞いてあげてください。「何かアドバイスしなくては・・・」と思うかもしれませんが、それよりも「私は君の仲間だよ」と伝えることが、相手を安心させることになります。

そして、子どもだけで悩まずに、信頼できる大人に伝えてください。皆さんのお父さん・お母さんは、君たちを世界一大切だと思っています。森合小の先生は、君たちのことなら何でもしようと思っています。みんなで力を合わせれば、きっと解決できると思います。

カネオ君も応援してします。みんなでがんばりましょう。



## 保護者・ご家族の皆様へ

新型コロナウイルスは、感染症そのものも心配ですが、子どもたちのメンタル面への影響がとても心配です。自粛生活における家族の不和や経済的な不安等々、大人の不安は子どもにも伝わります。子ども自身も活動が制限されているので、自然体験や社会体験を通して学んだり感じたりすることが少なくなっています。逆にメディアへの接触が多くなっているために、仮想と現実の区別ができなくなったり規範意識や自制心が低下してきたりしています。さらに、前号で説明したように実際の人間関係にも影響を及ぼしています。

つまり、現在の特殊な状況下では、子どもが不安を感じたり悩みをもったりすることが多くなるということです。私たち教職員はこのことを常に意識して、子どもたちの心に寄り添っていきたく思います。子どもたちにも一人で悩まないで早めに「SOS」を出すように指導していきたく思います。また、保護者の皆様の中にも、不安や悩みを抱えている方がいるのではないかと思います。教師は子育てのパートナーです。共に考えていきたく思いますので、保護者の皆様もご相談ください。

